

2021年4月9日

福島復興局長 生沼 裕 様

日本共産党福島県委員会
委員長 町田 和史

日本共産党福島県議団
団 長 神山 悦子

ふくしま復興共同センター
代表委員 斎藤 富春

東京電力福島第一原発敷地内に保管されている 汚染水の海洋放出に反対する緊急申し入れ

東日本大震災・原発事故から丸 10 年が経過、いまなお故郷に戻れない県民は避難生活を強いられ、すべての被災県民が復興にむけて懸命の努力を続けている。

菅首相は7日、東京電力福島第一原発で保管を続けている汚染水の処分を巡り、全国漁業協同組合連合会（全漁連）の岸宏会長、福島県漁連の野崎哲会長と官邸で面会し、「海洋放出がより確実で現実的な方法であるという専門家の提言を踏まえ、政府の方針を決定していきたい」と伝えたと報道されている。政府は13日にも関係閣僚会議を開き、海洋放出の方針を決めるとしている。

福島第一原発構内では中身が不明のコンテナ 4000 基が新たに見つかるなど、東京電力のずさんな管理が明らかになったばかりで、柏崎刈羽原発の核防護をめぐる重大事象など東京電力の安全管理に国民的な不信が広がっている。もはや東京電力に原発の運転資格がないことは明らかで、安全対策にも極めて強い疑念を抱かざるを得ない。

県議会をはじめ県内の7割を超える43市町村議会では反対や慎重対応を求める意見書が可決され、県民世論は反対が多数である。本県漁業はこの4月からようやく本格操業に入った矢先であり、海洋放出されることになればこれまでの努力が水泡に帰すことは明らかで、全漁連、県漁連は「絶対反対の考えはいささかも変わらない」と述べている。

地元同意もないままに結論ありきで海洋放出を決定することは許されず、政府は福島県民の声に真摯に耳を傾けるべきである。新型コロナ危機が深刻化する下で、いま政府が取り組むべきはコロナ対策に全力を上げることであり、性急な方針決定は許されない。

以下緊急に申し入れる。

記

- 1、東京電力福島第一原発敷地内に保管されている汚染水の海洋放出決定は行わないこと。
- 2、地上保管を継続すること。

以上

2021年4月9日

福島県知事 内堀 雅雄 様

日本共産党福島県委員会
委員長 町田 和史

日本共産党福島県議団
団 長 神山 悦子

ふくしま復興共同センター
代表委員 斎藤 富春

東京電力福島第一原発敷地内に保管されている 汚染水の海洋放出に反対することを求める緊急申し入れ

東日本大震災・原発事故から丸 10 年が経過、いまなお故郷に戻れない県民は避難生活を強いられ、すべての被災県民が復興にむけて懸命の努力を続けている。

菅首相は7日、東京電力福島第一原発で保管を続けている汚染水の処分を巡り、全国漁業協同組合連合会（全漁連）の岸宏会長、福島県漁連の野崎哲会長と官邸で面会し、「海洋放出がより確実で現実的な方法であるという専門家の提言を踏まえ、政府の方針を決定していきたい」と伝えたと報道されている。政府は13日にも関係閣僚会議を開き、海洋放出の方針を決めるとしている。

福島第一原発構内では中身が不明のコンテナ 4000 基が新たに見つかるなど、東京電力のずさんな管理が明らかになったばかりで、柏崎刈羽原発の核防護をめぐる重大事象など東京電力の安全管理に国民的な不信が広がっている。もはや東京電力に原発の運転資格がないことは明らかで、安全対策にも極めて強い疑念を抱かざるを得ない。

県議会をはじめ県内の7割を超える43市町村議会では反対や慎重対応を求める意見書が可決され、県民世論は反対が多数である。本県漁業はこの4月からようやく本格操業に入った矢先であり、海洋放出されることになればこれまでの努力が水泡に帰すことは明らかで、全漁連、県漁連は「絶対反対の考えはいささかも変わらない」と述べている。

地元同意もないままに結論ありきで海洋放出を決定することは許されず、政府は福島県民の声に真摯に耳を傾けるべきである。県もこの立場で国に求めるよう、以下緊急に申し入れる。

記

- 1、県は東京電力福島第一原発敷地内に保管されている汚染水の海洋放出決定を行わないよう国に求めること。
- 2、地上保管を継続するよう国に求めること。

以上